

電気がから見える世界

日本の電気の76%は火力発電所で作られています。

再生可能エネルギーにはどんな種類がありますか？

電気は私たちの暮らしに欠かせないものですが、最近、電気代が高くて困っていませんか？
そもそも電気ってどうやって作っているの？
地球にやさしい未来のエネルギーについて、一緒に考えてみましょう。

火力発電は天然ガス、石炭、石油などを燃やして電気を作りますが、これらを燃やすと地球温暖化の原因と言われている二酸化炭素がたくさん発生してしまいます。

●太陽光発電



●風力発電

●バイオマス発電

生ごみや木くず、家畜のフンなどから電気を作る



●地熱発電

温泉や火山のマグマの熱を利用して電気をつくる

●波力発電

波の力を利用して発電する



●振動発電

歩道、鉄道、橋などの振動を電気に変える

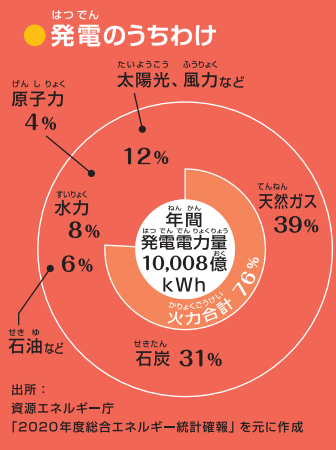


日本のエネルギー自給率はたった11%です。

日本のエネルギー資源は天然ガスや石炭などのエネルギー資源が乏しく、ほとんどを海外から輸入しています。海外で戦争などが起きると、その影響でエネルギー源を安定して確保することができません。

未来のエネルギーってどんなもの？

このまま火力発電に頼り続けると二酸化炭素が増え、地球温暖化が進み、異常気象による自然災害が深刻化します。太陽光や風力のように、自然の力を利用した「再生可能エネルギー」は二酸化炭素を出さないクリーンなエネルギーです。



まとめ

電気のおかげで私たちの暮らしは便利になりました。しかし、これからは地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない「再生可能エネルギー」が求められています。人間は地球を守る努力をしなければなりません。環境と調和した無理のない暮らし方を考えてみましょう。

「省エネ」と「節電」について考えよう

神奈川県立地球市民かながわプラザ あーすぷらざ

このかべ新聞はあーすぷらざのホームページからもダウンロードできます。

省エネ：電気やガスなどのエネルギーを無駄なく使おうという考え方

節電：普段の生活を工夫し、電力消費を抑えて節約すること

- 電気の使用を
- 1 へがす
 - 2 ずらす
 - 3 きりがえる